

香川大学には、約170名の留学生が在学しています。慣れない日本での生活はもちろん、勉学に頑張っています。今回は、彼らがどのような活動をし、どのように勉学に励んでいるかなどを紹介します。

## 留学生からの一言



教育学研究科1年  
刘 亚莹

私は中国からの留学生です。日本にきた当初、言葉の違いから起こる様々な不便のため、留学生の大変さをしみじみと感じました。「負けてはいけない。」と自分を励まし、日本語の勉強を重ね、異国の生活に慣れるように頑張りました。時間が経つのは早く、日本での留学生活はそろそろ丸4年目を迎えようとしています。日本にきた日のことを昨日のことに感じているのですが、今の自分はその時の自分より、はるかに日本での生活に溶け込んでいます。

大学院に入学した今、興味がある専門分野でより一層深く研究したいと思っています。ここで、素晴らしい先生、先輩や仲間

達に出会い、勉強面でも生活面でもたくさんの方の貴重な意見をもらいました。大学院の授業は少人数の場合が多く、個人の意見を自由に述べるすることができます。人前で話すことが苦手な私にとって、とてもいい勉強の場になっています。多くの専門知識を身につけながら、日本に関する様々な事を理解することができるようになりました。

今までの留学生活を通して、自分の考え方が少しずつ変わっていると感じています。これは人生の貴重な経験になると思います。これからもたくさんの方の情報を吸収して、充実した留学生活を送ろうと思っています。



法学研究科1年  
王 学鹏

私は、今年4月に念願の法学研究科に入学しました。中国経済は著しく成長している一方で、水質と大気汚染はとても深刻な問題で、これを解決しない限り、中国経済の持続可能な発展はないと思います。特に法整備は遅れており、将来、貢献したいと思ったからです。

大学院では、一对一の授業が多く、発表のため一晩中研究室で報告書を作り、寝ずに講義に出る日も少なくありませんでした。ある日、目が覚めると既に講義時間が終わっていました。指導の先生にこの件を報告したあと弱音を吐くと、先生は自分の院生時代や留学生活のことを教えて下さり、色々な困難を乗り越えて成長するのだと私を励ましてくれました。それからは、時間を有効に使い、メリハリある生活を心が

けることで、今までにない自分を発見できた気がします。沢山の知識を得ることができましたし、自身の考え方や、人生観の変化にも気づきました。

先日読んだ『生命の暗号』という本の中にこのような言葉がありました。“人間は心の中に非常に大きな力を持っています。その力をうまく引き出すには、ときに自分を追い込むことも必要です。…努力すれば人間は何でもできるようになる、なりたいものになれるんだという考え方です。”目標や夢が人に大きな力を与えることに、改めて気づかされます。

私は、香川大学で授業を受けられて、本当によかったと思います。残りの院生生活も“心豊かな品格ある香川大学人”になれるよう引き続き頑張りたいと思います。



経済学部3年  
張 箴

外国に行ける楽しみと両親への未練を残し、日本へ来る旅に踏み出した4年前。その時の光景が目の前にありありと浮かびます。日本語試験で初めて香川に来た時、高松に一目惚れしてしまいました。大都市ほどにぎやかではないけれども、当時大学入試のために焦っていた私にとって心の癒される街でした。それから、この静かな街で様々な楽しみと苦しみを伴った生活が始まりました。

当初、履修登録やアルバイトを探すことは辛く、寂しさに襲われました。なぜ、憧れた大学生活と違うのか、と疑うこともありましたが、しかし、負けず嫌いの私は、そのまま負けることはできませんでした。どのようなことがあってもあきらめずに、楽しく大学生活を過ごすことと決めました。学校で友達を作り、先輩から授業のことを聞き、毎日全力で頑張り、笑顔で生活し、半年が過ぎたときには、自分が前より強くなったことに気が付きました。回りの方から様々なことを学びながら、自分の力で楽しい生活を送ることができるようになりました。

また、この3年間に、様々な国から来ている多くの留学生と出会いました。言葉はよく通じないけれど、みんなが笑顔で挨拶し、楽しい見学旅行にも行きました。静かな海岸で10カ国の学生たちが母国語で国歌を歌う光景は一生忘れられないでしょう。私たちがこの広い地球の中の日本で出会ったことは、思いがけない巡り合いだと思います。

この3年間の大学生活を思い出すと、何とも言えない気持ちになります。ただ、どのような後悔も、どのような成功も、全ては過去の事です。明日は前向きに頑張っていくべきです。失敗は誰でもありますが、失敗してもかまいません。誰でも人に見せない涙があります。しかし、躓いても負けずに頑張る気持ちは、誰でも自分の夢を叶えることができます。

3年生の後期に入り、そろそろ就職活動の時期ですが、その大変さへの覚悟は既にできています。明日は遙か先にあるものですが、明日へ架ける橋は自分の力で築けるものだと思います。

留学生からの一言



医学系研究科  
(博士)1年  
劉 石

今年の4月に入学して、早くも半年が経ちました。初めて留学生生活を始めた頃の、興奮と不安に心躍らせていた自分の姿が、いま甦ってきます。

来日前、1年間ほど中国で臨床医師として働いていました。その時、癌に苦しめる患者さんを目の当たりにして、何もできない自分がものすごく辛く恥ずかしかったのです。それがきっかけとなって、新しい治療方法を開発するために進んでいる研究手段や方法を勉強しなければならないと、留学を決定しました。

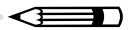
「より多くの研究に携わり確かな技能を身に付けたい、もっとたくさん新しい知識を学びたい。」そんな思いを秘めながら、毎日実験室で一生懸命に努力しています。一時期、身体面できつい日々もありましたが、精神面ではとても充実していました。そうした大変な毎日の中でも、ずっと傍らで優しく支えてくれたのは、同じ留学生として研究

に余念のない夫でした。日々の生活を生き生きさせるために、研究について議論したり、悩み事の相談を話し合ったりしながら、互いに励まし合って、困難な壁を乗り越えて来たように思います。こんな時は、本当に「光陰、矢の如し」を実感します。

休日に時々開かれる国際交流の活動には、必ず参加して来ました。とても楽しかったです。日本茶道のマナーを知りました。おいしい讃岐うどんを何度も味わいました。このようにして、日本文化を少しずつ理解しながら、留学生生活の思い出作りに励んでいます。この経験は、きっと将来の私たちの医療生活にいい味わいを添えてくれると思います。

これからもさまざまな出会いがあって、いろいろな経験ができるはずです。毎日を大切に、悔いのない留学生生活を送りたいと思います。

皆様、共に元気で頑張りましょう。



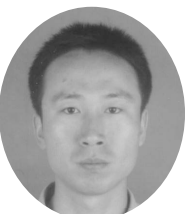
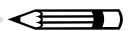
工学研究科  
(博士)2年  
夏 如艇

2005年10月、私は中国の江西農業大学工学院の副教授で、外国人研究者として来日し、2年経ちました。最初は6ヵ月間の研究後、帰国予定でしたが、私は留学を選びました。日本は友好的な民主的な国家で、高度な経済・科学技術力があり、教育水準も高く、美しい自然環境があるからです。

現在、知能機械設計講座土居研究室で「自動車と人間工学」に関する研究をしています。ここ数年、中国の自動車の保有量は増加し、交通事故数も増加していますが、交通予防安全や三次元空間の注意特性の研究はあまりされていません。この分野で日本は先進レベルで、私は交通環境における運転者の安全性の向上に関する研究をテーマに選びました。

さて、日本で印象深いことを三つあげます。一つは、日本で暮らす外国人のため、生活上の問題や悩みを相談・解決してくれる組織等があり、非常に心強い事です。二つ目は、桜の宴会、夏祭りや花火等々、四季折々色々な催し物がある事、そして、三つ目は、日本の交通費は大変高いですが、心地良く利用出来、高速で便利安全、時間通りで効率がよい事です。

博士課程を修了し帰国後も「自動車と人間工学」の研究を続け、学生に方法論を教え、日本で学んだ研究方法で、運転手と交通安全の状況を調査研究し、交通予防安全の教育啓蒙活動を展開するつもりです。



連合農学研究科  
(博士)1年  
辺 嘉實

私は、中国の天津農学院を2001年に卒業した後、同農学院の科技処に3年間助手として勤務しました。その後、2004年10月に文部科学省の国費留学生として来日しました。日本に来た当初は、生活習慣や日常生活で困ったことがたくさんありましたが、多くの日本人学生が助けてくれました。今では、日本の生活や習慣に十分慣れるとともに、国際交流活動を通じて大勢の日本人の友達を得ることが出来ました。私は、これらの交流によって日本の伝統的な行事や文化を理解するとともに、日本人の優しさや思いやりの深さを実感しました。中国と日本との間には、歴史認識などを巡って、未だ多くの問題が残されていますが、

私達若い世代が交流を深めることで、より良い中日関係を築くことが出来ると信じています。

私は今、「有機栽培が水稻の収量と食味に及ぼす影響」というテーマについて研究を行っています。このテーマは、今後の私の母国においても非常に重要な課題になると思います。日本で勉強した研究手法、実験計画やその取りまとめ方、結果を発表するためのプレゼンテーション能力などを生かして中国の農学研究の発展に寄与するとともに、日本で得た友人との関係を通じて、今後の中日友好に微力を尽くしたいと考えています。

